

分野	科目名	配当年次	開講期	
専門分野Ⅱ	成人看護学Ⅵ 脳神経	1年次	前期	
単位数	時間	担当教員	実務経験の有無	
1単位 (30時間)	14時間	外山 忍 専任教員	有	
授業の概要	・脳の構造や機能、起こりやすい脳疾患の特徴を理解し、経過に応じた看護を学ぶ			
到達目標	1. 脳の構造、細胞の特徴、脳疾患をもつ人へのケアの方向性を理解する。 2. 脳梗塞、クモ膜下出血の病態、症状、検査を理解する。 3. 病気による生活への影響を理解する。 4. 脳疾患患者の生活の整え方を理解する。			
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考
	1	脳の構造、脳細胞の特徴、代償機能	講義・DVD	
	2	脳疾患患者の代償機能を発揮するための看護	講義	
	3	脳疾患の症状と生活への影響	講義	
	4	クモ膜下出血患者の看護	講義	
	5	脳梗塞患者の看護、失語症・麻痺のある患者の看護	講義	
	6	脳出血患者のアセスメント①	講義・演習	
	7	脳出血患者のアセスメント②	講義・演習	
	評価	筆記試験 脳神経 100点、血液・感染 70点・化学療法 30点の200点のうち、6割以上（120点以上）で単位履修とする。		
参考文献	1. 堺 章：目でみるからだのメカニズム 医学書院 2000 2. 金子晶子：図でわかる エビデンスに基づく脳卒中・頭痛・パーキンソン病のある人への看護ケア 中央法規 2007 3. 小田政枝：解剖生理と病態がつながる！疾患別看護過程 くも膜下出血 プチナース 19 (5) 照林社 2010 4. 冷水 育：患者さんがみえる！症状別アセスメント力アップセミナー 意識障害 プチナース 21 (9) 照林社 2012 5. 岩田 誠：図解雑学、脳のしくみ ナツメ社 1999 6. NHKサイエンススペシャル 「脳と心 秘められた復元力」NHK出版 1994			
備考				